

HONDA TSUSHIN

# 第77期中間報告書

2006年4月1日～2006年9月30日

 本多通信工業株式会社

HONDA TSUSHIN KOGYO CO., LTD.

証券銘柄コード：6826

## 株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当社の事業運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ここに「第77期中間報告書」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社が属するコネクタ業界におきましては、前期に引き続き、携帯電話、薄型テレビ、カーエレクトロニクス向けが牽引する中で、成長を続けております。一方では原油価格の高騰と、金、銅などの原材料価格の上昇といったコスト増加要因もあり、価格・納期などを含めてグローバルで企業間の競争は激しくなっております。

このような状況の中で、当社グループは「収益ある売上拡大によりマーケットシェアを拡大し、持続的に高い利益を確保できる体質に変革していくこと」を最重要課題として業務拡大に努めております。

そのために、当社は、市場やお客様のニーズの変化を先取りした新製品をタイムリーに提供できる、営業・技術手法および態勢への更なる革新とグローバルな価格競争に打ち勝つためにあらゆる角度からコストダウンを徹底し、高い利益が安定的に確保できる体質とするべく邁進いたします。そして、常にグローバルな観点から高品質、高付加価値な新製品を市場やお客様にスピーディに提供する独立系コネクタ専門メーカーとして業務拡大を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、力強いご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

**小宮 昊地**

### 目次

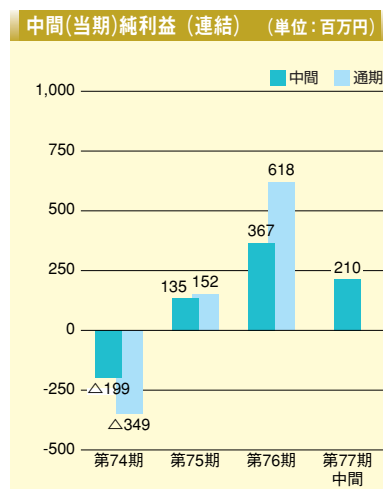
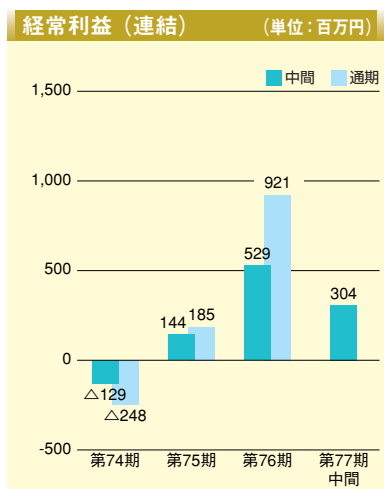
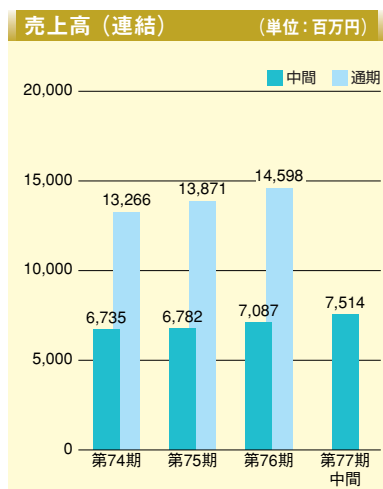
- ・ 株主の皆様へ ……………1頁
- ・ 経営成績 ……………2頁
- ・ 活動報告 ……………3頁
- ・ 今後の展開 ……………4頁
- ・ ホンダトピックス ………5頁
- ・ 中間連結財務諸表 ………7頁
- ・ 中間単体財務諸表 ………9頁
- ・ 事業所・  
連結子会社紹介……………10頁

## 経営成績

当中間期の連結業績は、売上高7,514百万円（前年同期比6.0%増）となりました。利益面では営業利益は279百万円（前年同期比30.0%減）、経常利益は304百万円（前年同期比42.5%減）、中間純利益は210百万円（前年同期比42.8%減）となりました。なお、経常利益で減少幅が拡大しているのは為替損益がマイナスに転じたことによるものです。

また、各分野別の業績につきましては、「コネクタ」分野では売上高6,853百万円、「その他」分野では売上高661百万円となりました。なお、当中間期より「コネクタ」分野と「その他」分野に区分しています。

単体では、売上高6,087百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益110百万円（前年同期比60.6%減）、経常利益187百万円（前年同期比40.8%減）、中間純利益144百万円（前年同期比26.6%減）となりました。



## 活動報告

### 上期を振り返って

当社は、前期に引き続き全社を挙げた新製品の積極的な投入と新分野への進出、海外生産の拡大や製造コストの削減などによる「利益が確保できる売上の拡大」に努めてまいりました。

その結果、売上については海外PC向けや新製品の販売が計画を下回ったものの、米国、アジアを中心に増加したことにより、前年同期より増加しました。しかし、利益については金、銅などの原材料価格高騰や中国工場の固定費などの増加があり、前年同期より減少し、当初予想を下回りました。

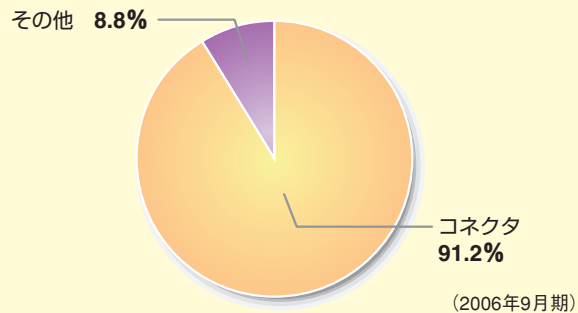


FLKシリーズ  
Kコネクタ (2.92mmコネクタ)

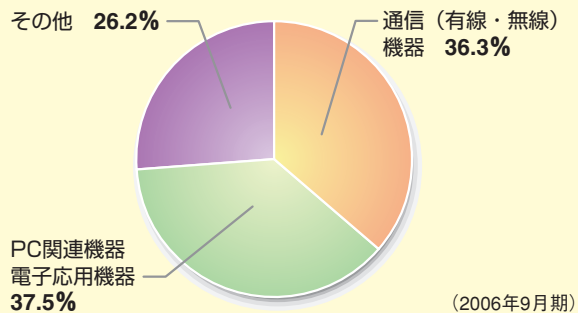


LGCシリーズ  
SC形4心アダプタ

### セグメント別売上構成比 (連結)



### 分野別売上構成比 (単体)

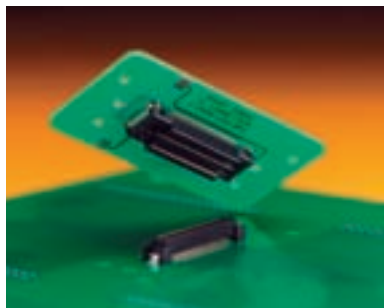


## 今後の展開

当社が属するコネクタ業界は、前期に引き続き、携帯電話、薄型テレビ、カーエレクトロニクス向けが牽引する中で成長を続けておりますが、原材料価格は上期と同様、高値水準が続くことが見込まれ、また、中国での労働者賃金上昇などによるコストアップなどがあり、下期も上期並みのコスト水準が続くと予想されます。

このような状況の中で、当社グループは当期の最重要課題である「収益ある売上拡大によりマーケットシェアを拡大し、持続的に高い利益を確保できる体質に変革していく」ために下記の施策を上期に引き続き、積極的に進めてまいります。

- ① 新製品の積極かつタイムリーな市場投入と新分野への参入による売上拡大
- ② 成長著しいカーエレクトロニクス分野への更なる展開とデジタル情報家電分野への確実な参入
- ③ 販売拠点の拡大による営業力の強化と業務の効率化
- ④ 抜本のコストダウンの徹底（生産革新と海外生産力の拡充強化、設計・製造段階からのコストダウンの追求）
- ⑤ 業務推進上の判断基準を「収益マインド・スピード・『変える・変わる』革新」におき、これを徹底することによる企業体質強化



QZACシリーズ  
0.5mmピッチフローティングコネクタ



SDBシリーズ  
microSD™カード用スロットコネクタ



TAKシリーズ  
車載用高速伝送小型コネクタ

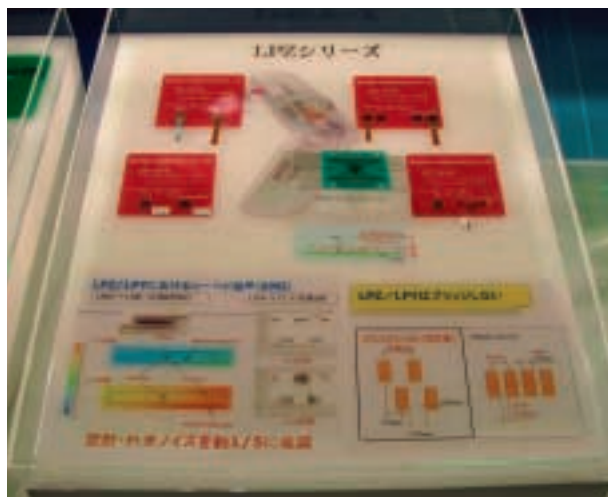
## ホンダトピックス

### CEATEC JAPAN 2006

当社は、平成18年10月3日～7日の5日間、幕張メッセにて開催された「CEATEC JAPAN 2006」に出展いたしました。この展示会は、「最先端IT・エレクトロニクス総合展」として、年々広く認知され、デジタルコンバージェンス時代の広がりを支える最新の技術、そして近未来のビジネスを示唆する最新情報に多くの方々から関心が寄せられました。通信と放送、そして映像・情報・コンテンツの融合が進むデジタルネットワーク時代を反映した、先進の技術と最新の製品、また、これらを支える半導体・ディスプレイ・電子部品・電子材料か

ら、システムソリューション・ソフトウェア・サービスまでを一堂に集め、出展各社が最新の成果を発表しました。

当社は、新製品の世界最小コンタクトピッチ0.3mm・スタックハイト0.7mmの「LPZシリーズ」を中心に、高速大容量化・小型多機能化が進む社会に相応しい製品ラインアップおよび、新分野に向けた戦略商品を新製品・参考出展を交え展示いたしました。



## ◆ 新製品紹介

### ■ 世界最小 LPZシリーズ

様々な進化を続ける携帯電話は、本来の通信機能の枠を越え、カメラ・GPS・ワンセグ対応などマルチな情報端末として、日々変貌し、接続部品としてのコネクタも更なる省スペース・薄型化が求められています。そのニーズを可能にするのが当社のモバイル用コネクタです。

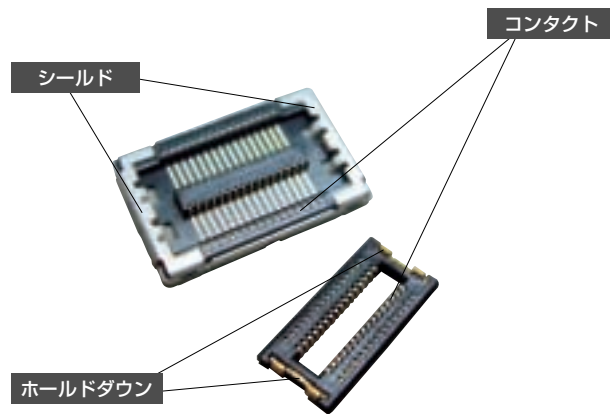
今回開発したLPZシリーズコネクタは、スタック高さを従来品の1.5mmを0.7mmまで低背化し、世界最小スタック高さを実現しました（平成18年10月末日現在）。

LPZシリーズは、超低背でありながらEMI/EDS対策を考慮した設計となっています。コネクタ全体をシールドで

囲み、シールドとホールダウンの四箇所接続させて、基板のグランド層に接続される構造です。コンタクトの半田付部を完全に遮断する設計であり、シールド対策をしたFPCと組み合わせると、シールド無しコネクタと比較して、最近問題となっている放射ノイズを約1/5に低減します。

さらに、当社独自のロック構造で良好なクリック感と組立時に発生する不完全嵌合や、機器の落下衝撃、FPCの引っ張りによる嵌合外れを防止します。

今後も、グローバルスタンダードを目指す商品開発を行い、市場ニーズに的確に対応してまいります。



## 中間連結財務諸表(要旨)

中間連結貸借対照表

(単位・百万円)

	前中間期末 H17.9.30現在	当中間期末 H18.9.30現在	前期末 H18.3.31現在		前中間期末 H17.9.30現在	当中間期末 H18.9.30現在	前期末 H18.3.31現在
(資産の部)				(負債の部)			
<b>流動資産</b>	<b>8,105</b>	<b>8,396</b>	<b>8,165</b>	<b>流動負債</b>	<b>4,290</b>	<b>4,050</b>	<b>4,403</b>
現金・預金	1,895	1,952	1,978	支払手形・買掛金	1,737	1,757	1,788
受取手形・売掛金	3,626	3,891	3,774	その他	2,552	2,292	2,614
棚卸資産	2,286	2,307	2,182	<b>固定負債</b>	<b>2,898</b>	<b>3,062</b>	<b>2,600</b>
その他	301	251	236	退職給付引当金	1,170	1,109	1,149
貸倒引当金	△5	△5	△6	その他	1,728	1,952	1,451
<b>固定資産</b>	<b>5,861</b>	<b>5,827</b>	<b>5,941</b>	負債合計	7,189	7,112	7,004
有形固定資産	3,416	3,351	3,340	(少数株主持分)			
建物・構築物	830	785	803	少数株主持分	54	—	57
機械装置・運搬具	602	578	591	(資本の部)			
工具器具備品	1,489	1,528	1,458	<b>資本金</b>	<b>1,156</b>	—	<b>1,156</b>
その他	492	459	487	<b>資本剰余金</b>	<b>1,163</b>	—	<b>1,163</b>
無形固定資産	59	60	65	<b>利益剰余金</b>	<b>4,053</b>	—	<b>4,303</b>
投資その他の資産	2,386	2,414	2,535	その他有価証券評価差額金	164	—	276
投資有価証券	839	922	1,066	為替換算調整勘定	185	—	146
その他	1,546	1,492	1,468	自己株式	△1	—	△1
<b>資産合計</b>	<b>13,966</b>	<b>14,223</b>	<b>14,107</b>	資本合計	6,722	—	7,045
				負債・少数株主持分及び資本合計	13,966	—	14,107
				(純資産の部)			
				<b>株主資本</b>	—	<b>6,710</b>	—
				資本金	—	1,156	—
				資本剰余金	—	1,163	—
				利益剰余金	—	4,392	—
				自己株式	—	△1	—
				評価・換算差額等	—	<b>342</b>	—
				その他有価証券評価差額金	—	189	—
				為替換算調整勘定	—	153	—
				<b>少数株主持分</b>	—	<b>58</b>	—
				純資産合計	—	7,111	—
				<b>負債・純資産合計</b>	—	<b>14,223</b>	—



中間連結損益計算書

(単位・百万円)

	前中間期 H17.4.1からH17.9.30まで	当中間期 H18.4.1からH18.9.30まで	前期 H17.4.1からH18.3.31まで
売上高	7,087	7,514	14,598
売上原価	5,316	5,730	11,077
売上総利益	1,771	1,783	3,520
販売費及び一般管理費	1,372	1,504	2,752
営業利益	399	279	768
営業外収益	183	77	340
営業外費用	53	52	186
経常利益	529	304	921
特別利益	1	6	17
特別損失	145	19	214
税金等調整前中間(当期)純利益	385	292	725
法人税、住民税及び事業税	53	66	115
法人税等調整額	△37	13	△12
少数株主利益(減算)	2	1	4
中間(当期)純利益	367	210	618

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位・百万円)

	前中間期 H17.4.1からH17.9.30まで	当中間期 H18.4.1からH18.9.30まで	前期 H17.4.1からH18.3.31まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	494	138	1,490
税金等調整前中間(当期)純利益	385	292	725
減価償却費	338	301	751
売上債権の増(減)額	△90	△117	△238
仕入債務の増(減)額	18	△30	69
その他	△157	△307	181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△403	△353	△898
財務活動によるキャッシュ・フロー	120	130	△330
現金及び現金同等物に係る換算差額	△66	11	△105
現金及び現金同等物の増(減)額	144	△72	156
現金及び現金同等物期首残高	1,201	1,357	1,201
現金及び現金同等物中間期末(期末)残高	1,346	1,285	1,357

中間連結株主資本等変動計算書 (H18.4.1からH18.9.30まで)

(単位・百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	其他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	1,156	1,163	4,303	△1	6,622	276	146	423	57	7,102
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当(注)	—	—	△79	—	△79	—	—	—	—	△79
役員賞与金(注)	—	—	△42	—	△42	—	—	—	△0	△42
中間純利益	—	—	210	—	210	—	—	—	—	210
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0	—	—	—	—	△0
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△87	6	△80	1	△79
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	88	△0	88	△87	6	△80	0	8
平成18年9月30日残高	1,156	1,163	4,392	△1	6,710	189	153	342	58	7,111

## ┃\_中間単体財務諸表(要旨)

### 中間単体貸借対照表

(単位・百万円)

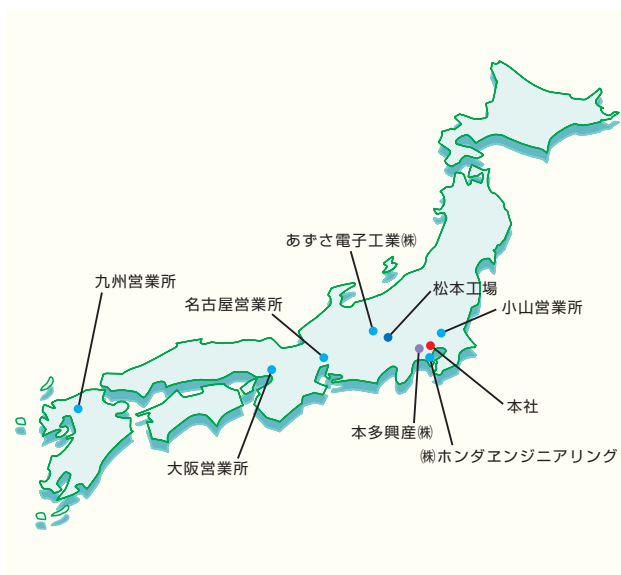
	前中間期末 H17.9.30現在	当中間期末 H18.9.30現在	前期末 H18.3.31現在
(資産の部)			
流動資産	7,555	7,691	7,563
固定資産	5,870	5,891	5,963
有形固定資産	3,057	2,921	2,974
無形固定資産	44	41	43
投資その他の資産	2,768	2,928	2,944
資産合計	13,425	13,583	13,527
(負債の部)			
流動負債	3,789	3,555	3,889
固定負債	2,678	2,868	2,422
負債合計	6,467	6,424	6,311
(資本の部)			
資本金	1,156	—	1,156
資本剰余金	1,163	—	1,163
利益剰余金	4,474	—	4,620
利益準備金	289	—	289
特別償却準備金	2	—	2
別途積立金	3,700	—	3,700
中間(当期)未処分利益	482	—	628
その他有価証券評価差額金	164	—	276
自己株式	△1	—	△1
資本合計	6,958	—	7,215
負債・資本合計	13,425	—	13,527
(純資産の部)			
株主資本	—	6,969	—
資本金	—	1,156	—
資本剰余金	—	1,163	—
資本準備金	—	1,163	—
利益剰余金	—	4,651	—
利益準備金	—	289	—
その他利益剰余金	—	4,361	—
自己株式	—	△1	—
評価・換算差額等	—	189	—
その他有価証券評価差額金	—	189	—
純資産合計	—	7,158	—
負債・純資産合計	—	13,583	—

### 中間単体損益計算書

(単位・百万円)

	前中間期 H17.4.19日H17.9.30まで	当中間期 H18.4.19日H18.9.30まで	前期 H17.4.19日H18.3.31まで
売上高	5,953	6,087	12,071
売上原価	4,581	4,794	9,417
売上総利益	1,372	1,293	2,654
販売費及び一般管理費	1,093	1,182	2,143
営業利益	279	110	511
営業外収益	85	108	176
営業外費用	49	31	171
経常利益	316	187	516
特別利益	0	1	7
特別損失	144	19	176
税引前中間(当期)純利益	171	169	346
法人税、住民税及び事業税	4	4	9
法人税等調整額	△30	19	△5
中間(当期)純利益	197	144	343
前期繰越利益	285	—	285
中間(当期)未処分利益	482	—	628

## \_事業所・連結子会社紹介



## 事業所

- **本社**  
〒152-8520 東京都目黒区目黒本町六丁目18番12号
- **松本工場**  
〒399-8102 長野県安曇野市三郷温4604番地
- **小山営業所**  
〒323-0822 栃木県小山市駅南町二丁目18番3号
- **大阪営業所**  
〒531-0071 大阪府大阪市北区中津一丁目15番15号
- **名古屋営業所**  
〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須四丁目9番79号
- **九州営業所**  
〒841-0036 佐賀県鳥栖市秋葉町三丁目18番5号

## グローバルネットワーク



- 関係会社 head office
- 生産拠点
- 駐在事務所
- 販売拠点

## 連結子会社

(国内)

- **あずさ電子工業株式会社**  
【電子機器部品製造販売】  
〒399-8301 長野県安曇野市穂高有明1059番地1  
(梓川工場 〒390-1702 長野県松本市梓川4759番地)
- **株式会社ホンダエンジニアリング** 【ソフトウェア開発・設計】  
〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町3丁目30番地4号  
(明治安田生命横浜西口ビル4階)
- **本多興産株式会社** 【一般貨物、物流荷役】  
〒191-0065 東京都日野市旭が丘5丁目17番地15号  
(松本営業所 〒399-8102 長野県安曇野市三郷温4604番地  
(本多通信工業・松本工場内))

(海外)

- **Honda Connectors, Inc.** 【電子部品の販売】  
2801 Lakeside Drive Suite #212 Bannockburn, IL 60015, U.S.A.
- **Honda Connectors Limited** 【電子部品の製造販売】  
Unit B1, Marston Gate, South Marston Park, Swindon SN3 4DE, ENGLAND.
- **Honda Connectors(S)Pte Ltd** 【電子部品の製造販売】  
119 Genting Lane # 04-00 H&H Industrial Building Singapore 349570
- **本多電子(香港)有限公司** 【電子部品の販売】  
香港九龍尖沙咀漆咸道南1号16樓  
(上海駐在員事務所 上海市浦西徐家匯天朝橋333号騰飛大廈2606室)
- **香港本多有限公司** 【電子部品の製造】  
香港九龍尖沙咀漆咸道南1号16樓  
(工場 中国深圳市寶安區西鄉街道黃田甲田崗工業區第18棟)

## 会社概要 (平成18年9月30日現在)

社 名 本多通信工業株式会社  
設 立 1947年6月14日  
資 本 金 11億5,662万円  
代 表 者 代表取締役社長 小宮 昊地  
従 業 員 数 259名 (グループ従業員数1,322名)  
事 業 内 容 電子機器、通信機器、電子応用装置、  
電気計測器、事務用機械および  
工作機械等の電子部品の製作販売  
役 員 代表取締役社長 小宮 昊地  
専 務 取 締 役 宮崎 博己  
常 務 取 締 役 北山 修身  
常 務 取 締 役 宮崎 泰雄  
取 締 役 中野 哲雄  
取 締 役 堀井 達男  
取 締 役 大西 浩司  
取 締 役 近藤 三雄  
常 勤 監 査 役 徳留 和廣  
監 査 役 中田 加津三  
監 査 役 佐々木 仁

## 株主メモ

事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで  
定 時 株 主 総 会 6月に開催  
基 準 日 (定時株主総会) 3月31日  
(利益配当金) 3月31日  
単 元 株 式 数 100株  
株 主 名 簿 管 理 人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
同 事 務 取 扱 所 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
(郵便物送付先)  
(電話照会先)  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
郵便番号 137-8081  
TEL.0120-232-711 (フリーダイヤル)  
同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
公 告 掲 載 方 法 当会社の公告方法は、電子公告とします。  
公告掲載URL  
<http://www.honda-connectors.co.jp>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によっ  
て電子公告による公告をすることができない  
場合は、日本経済新聞に掲載します。



ホームページ内に決算短信や有価証券報告書等のIR情報ははじめ様々な情報を開示しておりますので、是非ご覧ください。



HONDA TSUSHIN KOGYO CO.,LTD.

〒152-8520 東京都目黒区目黒本町六丁目18番12号  
TEL.(03)3714-1151



この中間報告書は100%古紙再生紙と植物性大豆インキを使用しています。